

なんとなく、良いことをした人は天国へ、悪いことをした人は地獄へ行く。そんなふうに思っているのではないのでしょうか。それとも、人間の存在は死で終わり、完全に無になってしまうと考えておられるのでしょうか。

古今東西、いろんな宗教者・思想家・哲学者が、人生について、死後の世界について語ってきています。じつにさまざまな説がありますが、ほんとうのところは、どうなのでしょう？ そんな事を考えてみたことはあるのでしょうか。

スポーツとかエンタメとか趣味嗜好のことであるなら各自の好きなように考えれば良いですし、興味のないことなら全然知らなくて構いません。「関係ない」「興味ない」で済むことです。でも、自分の命にかかわることについて「関係ない」「興味ない」なんて言っていて、良いのでしょうか。

「あなたは深刻な病にかかっています。このまま放置しては余命半年です。適切な治療をおすすめします。そうすれば治る可能性も高いのです」 そう言われたとして、無視するのでしょうか。追加の検査をしたり、セカンドオピニオンを求めたりして、ほんとうにそういう危機的な状況にあるのかどうか確かめた上で、適切な治療をしようとするのではないのでしょうか。自分の命にかかわることなのですから。

天国や地獄はある？

でも、不思議なくらい、人は死後のことについて考えたり調べたりすることが多くないようです。どんなに健康であったとしても、これを読んでいる方々の多くは余命 100 年も無いはずなのです。必ず、絶対に、タイムリミットがあるのです。しかもそれは数十年後かもしれませんし、場合によっては今日である可能性もあるのです。なのに結構、呑気なんじゃないのでしょうか。

聖書に書かれていることを、ご紹介しておきます。果たしてそれが本当なのか、他の宗教者や思想家が語ることとどう違うのか、「本当のこと」は何なのか、思い巡らし、関心をもっていかれることをおすすめいたします。

わたしは初めであり、わたしは終りである。わたしのほかに神はない。

(旧約聖書 イザヤ書 第 44 章 6 節後半)

一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることが、人間に定まっている

(新約聖書 ヘブル人への手紙 第 9 章 27 節)

天地万物の創造者である本物の神様を信じ、救い主であるイエス・キリストが十字架にかかって死に、葬られ、復活したことを信じ、神様に信頼していくならば、神様と共

にある「天国」に招き入れられます。でも神様を無視し、神ならぬ者に頼り、神と断絶しているならば、本当の神様のいない「地獄」に行かざるを得ません。神様の恵みが全くない場所は「地獄」という名称をつけるしかない、悲惨な場所にしかなり得ません。

信じている宗教、人種、国籍、家系によって、死後の世界が違うなんて、そんなことがあり得るのでしょうか。誰が差配するのでしょうか。いろいろ考えるのは勝手ですが、それが「事実」である保証はどこにもないのです。たかだか 100 年程度の人生についてだけでなく、その後の永遠にかかわる、結構重大な事なのだと思いますか？

生きている現在は、まだ間に合います。死んだあとで「神様って本当に存在したんだ」と気づいても、遅いのです。

祈ってみましょう

今まで、本物の神様と無縁で生活してきました。死後のことにも無関心でした。でも確かに、私も必ず死ぬんですよね。その後どうなるのか、放置しておくわけにはいけないと思えてきました。ほんとうの神様が存在するなら、どうかわかるように助けて下さい。イエスキリストの救いについて、理解させて下さい。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

教会の定期集会のご案内

現在、教会は建替のため解体されています。来年 3 月の完成までは**旭山公園通地区センター(日曜日 10:00~)**などを借りて礼拝を行っています。詳しくは教会ホームページでご案内します。

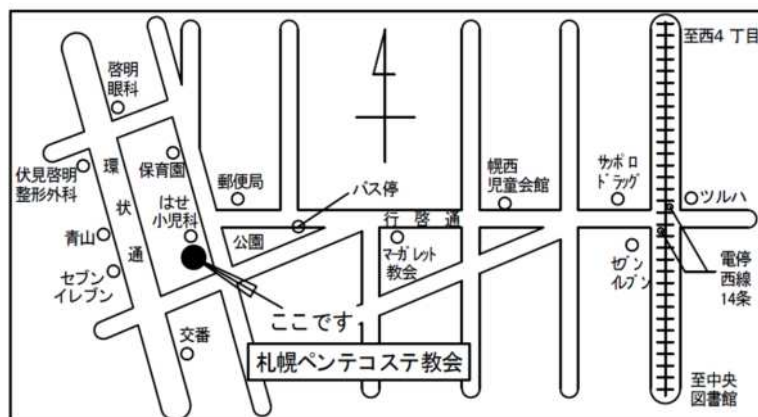


札幌ペンテコステ教会 <http://sapporopk.com/> (右のQRコードから)

NewHope のバックナンバー、礼拝の Youtube 動画などもあります。

日本聖書協会 <https://www.bible.or.jp/>

『聴くドラマ聖書』アプリ <https://graceandmercy.or.jp/app/>



【教会へのアクセス】 (現在建替中)

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車
JR 札幌駅札幌ターミナルから
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車

駐車スペース有